

今後の対応方針（案）

～協議会として取り組む方策～

「函館線（長万部・小樽間）代替バス運行計画（検討）」に関するバス事業者の検討状況を踏まえ、協議会としては、交通事業者とともに次の方策に取り組む。

①運転手確保の取組

バス運転手不足の状況を踏まえ、現在の既存バス路線も含め、各地で実施している運転手確保の取組などを参考に、バス事業者の運転手確保に向けた取組を支援していく。

②交通需要と環境の変化把握及び交通事業者との協議継続

将来の交通需要や高速道路延伸などといった交通環境の変化を的確に捉え、引き続きJRや既存バスの利用者実績を把握しながら、地域住民の利便性の確保と持続的な路線確保に資する運行計画のとりまとめに向け、交通事業者との協議を継続していく。

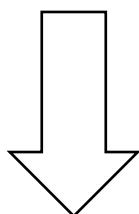
③将来を見据えた地域の交通ネットワークの検討

地域住民の生活や地域の観光などを支える交通体系の構築に向けて、新幹線開業後を見据えた人流の変化に対応する広域的な交通ネットワークの検討を進めていく。

～今後の進め方～

第17回後志ブロック会議【今回】

- ・バス運行計画（検討）について
- ・需要調査について



(適宜、幹事会等において協議・検討)

- ・区間別に具体的な対応案を検討
- ・地域ごとの課題解決のための協議

第18回後志ブロック会議

- ・バス運行計画（検討）の協議状況について
- ・需要調査について
- ・今後の対応方針について

※ 上記の方策について、引き続き幹事会において協議・検討を継続し、新幹線の開業時期に係る動き等、状況の変化に応じて、適宜ブロック会議を開催する。